



# キッズだより

令和7年11月 第44号  
たかといちどいキッズ

♪ ととけっこう よがあげた

まめでっぼう おきてきな♪

誰かが横になっていると、聴こえてくるわらべうたです。「まめでっぼう」のところに名前を入れて「〇〇ちゃんおきてきな」と歌うとニヤニヤしながらまだ眠っているふり…。もう一度歌うと、元気に「はーい」と起きてきます。すると次々と横になり、眠っているふりをして歌い、起こしあいを楽しんでいます。お昼寝からなかなか起きてこない子にも、この歌を歌うと起きてきます。お家でも試してみてください。わらべうたを歌うことで何気ない動作に笑みが加わります。1日の忙しい時間にこそわらべうたを歌い、子どもも大人もほっとする時間にしてはいかがでしょうか？

2歳児は、連携園のたかとりちどり保育園のにじ組と合同で、親子ふれあいデーとわくわく発表会を行うことになりました。3歳児クラスになると、一緒に過ごすことになるため1年をかけて交流をしています。一緒に行事に参加することで、さらに仲が深まり保護者の皆さんにも、保育園の雰囲気を感じてもらえるのではないかと考え、今年度から一緒に遊ぶことになりました。

0歳児、1歳児の親子ふれあいデーとわくわく発表会は、名前を変えて「わくわく親子ふれあい会」になります。“何が変わったの？”と言いますと、今までの親子ふれあいデーは、親子でふれあったり体を動かしたりして遊ぶ時間でした。わくわく発表会は、たかとりちどり保育園の舞台上で歌ったり表現遊びをしたり、普段の姿を見ていただくプログラムでした。大人数の前で何かをするのは、とても緊張すると思います。可愛い姿を見てもらいたくても、泣いたり困っていたりする姿しか見ていただけないことがありました。そこで、どうしたら子どもの楽しんでいる姿を見てもらえるかを話し合い検討しました。「少しでも子どもの負担をなくした方がいいのでは？大好きなお母さんお父さんと離れる時間より一緒に遊ぶ時間が良い時間になるのでは？でも歌うところや遊んでいるところも見てほしい気持ちもある…。」そこで、「一緒に歌ったり表現したり、ふれあって体を一緒に動かせるプログラムなら、子どもも保護者の皆さんも楽しい時間になるのでは？」と、この会を開催することになりました。当日は子どもと一緒に楽しんでください。

北坂 美知子



## 11月の予定



誕生会 6日(木) 内科健診 6日(木)

わくわく親子ふれあい会・懇談会(あさひ・ひかり組)

14日(金)

発育測定 20日(月)

避難訓練

25日(月)

救急訓練

28日(金)



あやひ・ひかり・ひまわり



手洗いに興味をもちはじめた子どもたち。一緒に水に触れたり、手を添えて洗ったりし、丁寧に関わってきました。くり返し伝えることで手洗いの仕方を覚え、石鹸をつけると、自分でこすり洗いをしようとしています。手を添えて一緒に洗うと、泡立つ様子をジューッと観察している子もいます。洗い終わると「ぱっぱっぱ」と水を払って満足そうにしています。その姿を認めることで手洗いをする気持ちよさが感じられるようにしています。今後も丁寧に洗い方を伝え、手洗いの習慣がつくようにしていきます。

手先が自由に使えるようになり、夢中で遊ぶ姿が見られるようになってきました。つまむ、入れる、ひっぱるなど、様々な手先を使った遊びを用意し、一緒に楽しめるようにしていきます。



お水でたね～



ごしごし、ごしごし



ひかり・ひまわり



先月は、散歩に出掛け探索を楽しみました。「むしいるかな？」子どもたちは草の中を探していました。保育士が「バッタがいたよ」とつかまえて見せると「ぴょーん」と言って動きを真似したり、バッタに触れたりして嬉しそうにしていました。落ち葉にも興味を示し、手に取って遊んでいました。「赤いね」「手の形をしているね」と話しかけると、手を広げ葉っぱの上に重ねたり、様々な色や形の葉っぱを並べたりして喜んでいました。どんぐりや木の実が落ちている公園にも出掛け、秋の自然を楽しめるように計画中です。

「お昼寝するよ」と、声をかけると自分のコットを見つけ横になります。子守唄を歌ったり、体に優しく触れたりし、一定時間ぐっすりと眠れるようにします。

むし  
いないかな？

きれいだね

バッタがいたよ



ひかり・ひまわり



トイレに向かうと自ら便座に座ろうとする子どもたち。「おしっこでたかな？」「でたら教えてね」と声をかけています。初めは便座に座ることに抵抗があった子どもたちも、「おしっこでたね」「気持ちいいね」と寄り添ったり喜びに共感したりすると、2回、3回と便座に座り排尿するようになってきました。トイレで排尿することに慣れていけるよう、排尿の間に合わせて誘いかけ、トイレでの排尿が習慣づくようにしていきます。

天気の良い日は、鷹取駅北公園や妙法寺川左岸公園に行って、遊具で遊んだりどんぐりや落ち葉などを拾ったりして、元気に戸外で遊ぶことを楽しめるようにしていきます。



でるかなー？



ながれたかな？







にじぐみ

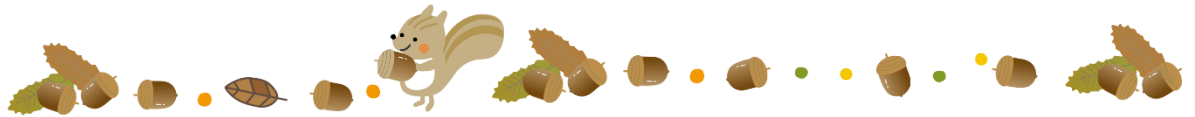


「今日はたかとりちどり保育園の友だちと遊ぶよ」と声をかけると、「やったー」「おおいほいくえんいく」と楽しみに散歩へ出かける準備をしています。保育園に着くと、最初は、友だちが楽しそうに遊んでいる様子を見ているだけでした。一緒にしたいと思いながらも声かけられない時には、「一緒に遊ぼうと言ってみようか」と誘いかけます。今では「いっしょにあそぼう」と誘って、関わろうとする姿が見られるようになってきました。12月にはわくわく発表会で保育園の友だちと一緒に遊びます。引き続き、交流する機会を作り、一緒に遊べるようにしていきます。

衣服の着脱では、自分でしようとするが増えてきた子どもたち。脱いだ服を畳めるように、仕方を伝えながら一緒に畳んでいきます。



一緒にジェンガをしたり絵本を読んだりしてたのしいね



## 《積み木で遊ぼう！》



今回は子どもが好きな「積み木遊び」について、年齢別で比べてみました。

1歳児クラスでは、色や形の違いに気付いたり、保育士と一緒に積み上げたり並べたりする姿が見られます。「何色かな？」と聞くと、「あお！」「ここにもある」と嬉しそうに選んでいます。



0歳児クラスでは、箱から積み木をどんどん出したり、積み上げた物を倒したりする姿が見られます。また、保育士が「どうぞ」と渡すと、子どもたちも真似し、積み木の受け渡しを楽しんでいます。



2歳児クラスでは、家・店・すべり台などを具体的に想像して作ったり、人形型の積み木や車の玩具を組み合わせた遊べる姿が見られます。「ここは何の部屋？」と聞くと、「ママのへや！」「おふろだよ」など会話をしながらイメージを膨らませています。



年齢によって、指先の発達や遊びの展開は異なります。0歳は1歳の遊びを見て学び、1歳は2歳の遊びを見て学び、様々な遊び方を吸収しています。保育士は、その姿を見て協力したり、一緒に考えたりしています。これからも、子どもに合わせて配慮し、積み木で遊ぶことを楽しめるようにします。



初山 このみ